

18歳以上の身体抑制率

分子:	分母のうち(物理的)身体抑制を実施した患者延べ数(device days)
分母:	18歳以上の入院患者延べ数(patient days)

(2012/04/18 日本病院会オリジナル指標)

(参考文献 HBIPS-2 Hours of physical restraint use. Joint Commission National Quality Core Measures)

下記項目のうち1～9の項目に準拠する項目を物理的身体抑制と定義する。

- 分子対象
1. 徘徊しないように、車椅子や椅子、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る。
 2. 転落しないように、ベッドに体幹四肢をひも等で縛る。
 3. 自分で降りられないように、ベッドを柵(サイドレール)で囲む。
 4. 点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、四肢をひも等で縛る。
 5. 点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、または皮膚をかきむしらないように、手指 の機能を制限するミトン型の手袋等をつける。
 6. 車椅子からずり落ちたり、立ち上がったりにしないように、Y字型拘束帯や腰ベルト、車椅子 テーブルをつける。
 7. 立ち上がる能力のある人の立ち上がりを妨げるような椅子を使用する。
 8. 脱衣やおむつはずしを制限するために、介護衣(つなぎ服)を着せる。
 9. 他人への迷惑行為を防ぐために、ベッドなどに体幹や四肢をひも等で縛る。
 10. 行動を落ち着かせるために、向神経薬を過剰に服用させる。
 11. 自分の意志であけることの出来ない居室等に隔離する。

算出例

1. 身体抑制を実施している日が1/25, 1/27で、身体抑制を実施していない日が1/22-24, 1/26, 1/28-31の場合
 - － 分母10、分子2
2. 調査期間に複数回入院(1/1入院-1/10退院、1/20入院-1/25退院、身体抑制実施日1/5のみ)の場合
 - － 分母16、分子1
3. 1/25入院-2/5退院、身体抑制実施日2/1-2/5の場合
 - － 1月:分母7、分子0 2月:分母5、分子5
4. 1/25入院-2/5退院、身体抑制実施日2/5のみの場合
 - － 1月:分母7、分子0 2月:分母5、分子1

算出例

	調査期間外	調査期間(4/1~4/30)		調査期間外	分母	分子
患者A(70歳) 身体抑制なし		4/3入院 4/7退院 ←→			5	0
患者B(17歳) 身体抑制あり(4/6)		4/3入院 4/7退院 ←■→			対象外	対象外
患者C(68歳) 身体抑制あり(3/31、 4/6)	3/28入院 ←■	4/20退院 ■→			20	1
患者D(17歳→18歳) 身体抑制あり(4/13、 4/28-30) 誕生日4/20		4/12入院 ←■	5/2退院 ■→		11	3
患者E(82歳) 身体抑制あり(3/31、 4/2、4/20-5/1)	3/20入院 ←■	4/2退院 ■→	4/15入院 ←■	5/3退院 ■→	2+16=18	1+11=12

年齢は、身体抑制日基準となります。

対象期間の途中で18歳以上になった場合、18歳になってからの入院期間が分母となります。

変更履歴

変更日	内容
2019/04/12	新規指標。
2019/05/20	年齢の基準を追加。資料1枚目。
2019/05/28	年齢の基準を変更。算出例の資料追加。資料3枚目。
2019/05/29	資料3枚目、65歳以上となっていた箇所を18歳以上に変更。